

記

- 1 主 催 北九州市・北九州市教育委員会・（公財）北九州市スポーツ協会・
特定非営利活動法人北九州市レクリエーション協会
- 2 後 援 読売新聞西部本社・西日本新聞社・朝日新聞社・毎日新聞社
- 3 協 賛 西日本新聞社・朝日新聞社・毎日新聞社
- 4 期 日 令和8年10月3日（土） 9：30（開会式）
※監督会議 8：40（本部前）
※審判会議 9：00（本部前）
- 5 会 場 若松武道場
- 6 試合区分
 - ・小学生の部（各区3チーム出場可能 ※チームは所属単位でなくても可）
※5人制の団体戦（2年、3年、4年、5年、6年各1名）
※当該学年のみ出場可（例；2年生が3年生のところに出場するのは不可）
 - ・中学生の部（各区2チーム出場可能 ※チームは学校単位）
※競技規則、申し合わせ事項等については各部で決定する。
- 7 競技規則（小学生の部）
 - （1）試合は国際柔道連盟試合審判規定（新ルール）で行う。
 - （2）試合時間はすべて2分とする。
 - （3）「優勢勝ち」の判定基準
 - ①団体試合は「技有」「僅差」以上とする。チームの内容が同点・同内容の場合は、代表戦を行う。代表選は引き分けの対戦から抽選で決定する。代表戦の本戦で得点差がない場合は判定により勝敗を決する。
 - （4）トーナメント戦の勝敗の決定は次による。
 - ①判定基準；選手対選手それぞれの試合の勝敗は、「有効」「僅差」以上とする。
※僅差は「指導差が2」以上とする。
 - ②「技の内容」と「指導」の重み
※【一本勝ち＝反則勝ち＞技有＞有効＞僅差】の順とする。
 - ③団体試合のチーム対チームの勝敗の決定；以下の項目によって勝敗を決定する。
 - （ア）勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - （イ）（ア）で同等の場合は、「一本による勝ち」が多いチームを勝ちとする。
※ただし、一本勝ちと反則勝ちは同等とする。
 - （ウ）（イ）で同等の場合は、「技有による勝ち」が多いチームを勝ちとする。
 - （エ）（ウ）で同等の場合は、「有効による勝ち」が多いチームを勝ちとする。
 - （オ）（エ）で同等の場合は、代表戦を行う。
※代表戦は引き分けの対戦から抽選で決定する。
- 8 そ の 他
 - （1）2・3年生はヘッドギアを必ず着用すること。
 - （2）傷害保険には各所属でご加入をお願いします。

申込締切 令和8年9月15日(火)
申込先 e-mail : nagatuka@fku.ed.jp
永塚 武夫